

おお大勝利

平成 22 年度山東サッカー部報第 8 号 (6 月 16 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

東北選手権 初戦は聖和学園

県総体の余韻冷めやらぬ現在ですが、3年生最後の大会の東北選手権が今週末から開催されます。初戦の相手は宮城 1 位の聖和学園と決まりました (詳しくは別紙をご覧ください)。聖和学園は確かな技術に裏打ちされた「記憶に残る」¹サッカーを展開する、プリンス 1 部在籍の強豪。これまで宮城県で実力 .1 と評されながらも、結果に報われず、今回のインターハイが初の全国大会出場となります。胸を借りるつもりで精一杯戦ってきます。

時間、場所等は別紙をご覧ください。遠方となりますが、応援よろしくお願いいたします。

Yリーグ 東海戦は引き分け

6 月 12 日 (土) 山形市陸上競技場にて Y リーグ第 5 節が行われ、山東は県総体で当たったばかりの東海大山形と対戦しました。県総体では勝ちを得たものの、残念ながら東海の選手に骨折者を 2 名出してしまい申し訳ない戦いとなっただけに、今回はけが人なしでスパッと決めたいところ。

お互いに負傷による欠場者を抱える苦しい布陣でスタート。県総体の時の燃えんばかりの勢いは両チームから感じられず、何となくまったりとした戦い。東海の持ち味を消す激しいプレッシャーをかけることができず、東海のパスワークが活きる前半の立ち上がり。右からの F K を左サイドバック? の小兵の選手に見事ヘディングで合わせられ、東海に先制を許す (東海にも大久保がいました! ちなみにこの大久保は日本代表の大久保じゃなく天童一中出身の大久保です)。今日が誕生日の山本マネージャーにバースデーゴールをプレゼントできるのか、怪しい雲行き。しかし時間を追うごとに山東の押し込む時間が増える。後半に直弘が F W になると、テクニカルなボールキープから東海ゴール前でシュート、スルーパスが多く出現。ゴールの匂いは漂うものの、どうなることやら。すると、厳しい戦いになればなるほど活躍する頼りになる男 F W 松永がゴール左隅に地を這う同点ゴールを決め、ベンチの山本マネに駆け寄る(ん~にくいぜマツ)。その後はお互いに決め手を欠き、引き分けで試合終了。試合終了間際に訪れた東海のビッグチャンスを、自慢の快速と魂のスライディングで防いだ桂木のプレーは、引き分けの勝ち点 1 を呼び込むスーパープレーだったことを書き添えておきます (代償として捻挫してしまいました)。

¹ 聖和は、「記録に残るサッカー = 勝ち負けだけにこだわったサッカー」に自らを対置させ、内容を伴った美しい勝利を目指しており、その姿勢が部是? の「記憶に残るサッカー」の追求につながっているように思われます。

これで3年生を含むチームでのYリーグは最終戦となるだけに、ぜひとも勝ち点3が欲しかったのですが、すべて含めて実力です。試合後、3年生有志が(テスト勉強も忘れ!)天然芝を楽しむべく東海と合同チームを作り、明新館との練習試合に興じていたのが印象的な、そんな「最終戦」でした。

夏までの予定について

やや気が早いのですが、今後の予定について。

6月27日(土) Yリーグ第6節 VS 羽黒 10:00 @羽黒高校サッカー場

これは予定通りです。新チーム初戦の相手が、チャンピオンチームとなります。そして降雪で流れたYリーグ第1節ですが、7月3日・4日に蔵王坊平(天然芝)で実施することとなりました。また、羽黒高校が沖縄インターハイに出場することから、Yリーグ第10節「羽黒山東戦」も予定通りの実施が困難となり、その坊平の日程に組み入れることとなりました。山東としても、8月7日(土)のYリーグ第10節羽黒戦はその日の午後にOB戦(サッカーフェスティバル われわれの頃はナイターサッカーと呼んでいましたが)があることから、前倒しで実施していただくのは好都合です。

7月3日(土) Yリーグ第1節 VS 鶴岡東 12:30@蔵王坊平(蔵王グリーングラウンド)

7月4日(日) Yリーグ第10節 VS 羽黒 12:30@蔵王坊平(蔵王グリーングラウンド)²

そこで、チームバスのない山東は、新チームの足固めの意味も込め、蔵王坊平に宿泊し、試合に臨みたいと思います(学校までの送迎は宿泊施設)。

² ちなみにその他のカードは、7月3日 10:30 羽黒 - 明新館、12:30 山東 鶴東、14:30 新東 鶴工、7月4日 10:30 東海 城北、12:30 羽黒 山東となります。4日の羽黒 - 山東戦のみY1の第10節で、その他は第1節の試合となります。